

小学校 中 学年＜3・4＞（10）＜

学年	3年 4年	時間	学級活動 or 総合「防災かるた作り」 学級活動 or 児童会活動(全校の場合) 「みんなで遊ぼう かるた大会」	時期	11月 12月 1月	時数	かるた作り(全1～3時間) かるた大会 1時間(45分)
目標	「かるた作り」をしたり「かるた取り」を友達と一緒に楽しく遊んだりすることにより、防災知識を身につけることができる。						
資料・準備	総務省消防庁「チャレンジ防災48」の読み札と取り札、or 学校独自に作成したかるた(作成する場合は読み札・取り札の台紙、マジックや絵の具等の用具)、災害状況や防災に関する写真や資料等						

＜かるた作り＞

○ 学校独自に「防災かるた」を作成する場合（3時間）

＜第1時＞・・・＜3・4＞（8）「防災川柳をよもう」＞を活用

- ・ GTに話を聞いたり、いろいろな災害の被害の様子や避難、防災等について、新しく学習したり今までに学習したことを思い出したり、写真・映像等を視聴したりして、思ったことや考えたことを書き出し、防災川柳を作る。
- ・ 同じ文字で始まる川柳でもよしとする（内容が異なる場合は絵も異なるので）が、各自数点ずつ作り、できるだけ多くの頭文字を集めることもできる。

＜第2時＞

- ・ 第1時で作った各自数点ずつの川柳を全部持ち寄り、話しあって組み合わせたり分類したりする。
- ・ (例) たくさん集まったら、災害別にするなど工夫し、できるだけ作成した川柳を全部組み入れる。

＜第3時＞

- ・ 第2時で決めた川柳で「読み札」を作成し、あわせて「取り札（絵札）」を作成する。

全校で取り組む場合は、学年に割り当てられた分について、班で話しあいながら協力して作成したり参観日に参加型で、いくつかの班に分かれて親子と一緒に話しあいながら協力して作成したりするのもよい。



○ 「チャレンジ！防災48」の防災かるたを活用の場合（1時間）

- ・ 短学活や家庭での宿題で「防災かるた」を学級や学年の人数で割り、一人が1～2枚「取り札」を作成する。学年人数が少ない場合は、3・4年合同で作成してもよい。
- ・ 全校の取組とする場合は、人数によって、一人1枚の作成でも何セットかできる場合もある。

＜かるた大会＞

- 学級の人数に合わせて、班で（小かるた）、学級全体で（大かるた）等、誰もが楽しんで防災の知識を学びながら遊べるよう工夫する。
- 「大かるた」は、「小かるた」を拡大コピーして、厚紙に貼り付けたものを準備する。
- 「小かるた」で遊ぶ場合は、必要な部数、コピーして厚紙に貼り付けたものを準備する。
- 大会前、大会後に、休憩時間等を利用して遊ぶ場合や、帰りの会の時間等の短学活を利用する場合などのために、数部、学級に常備しておくこともよい。
- 全校で取り組む場合、何組も印刷して作成し、全校での「かるた大会」を行うのもよい。
＜学年ごと、縦割り班対抗、など、方法を考えるとおもしろい。＞